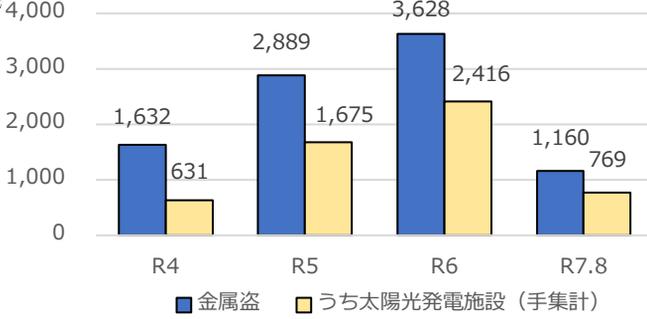




金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

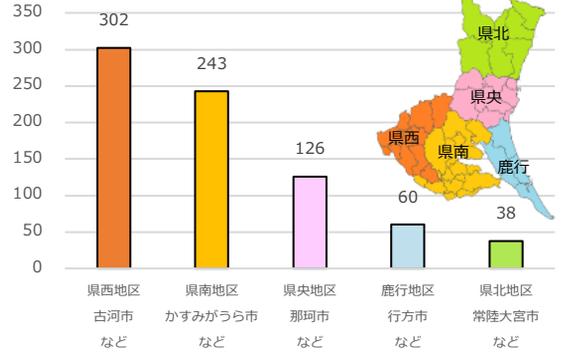
太陽光発電施設関係の発生状況

1 金属盗の発生件数（暫定値）



茨城県は、金属盗の発生件数が全国最多
発生件数は、昨年同時期約55%減少
太陽光発電施設での被害が約66%を占める

2 令和7年8月末の地域別の発生件数（暫定値）



県西・県南地区で多発
小規模太陽光発電施設でも発生

金属盗等の現状と対策

9月1日から、指定金属切断工具の隠匿携帯が禁止！

「盗難特定金属製物品の処分に関する法律」の施行に伴い、業務その他正当な理由なく指定金属切断工具（一定のケーブルカッター・ボルトクリッパー）の隠匿携帯が禁止されました。詳細は、県警ホームページなどをご覧ください。

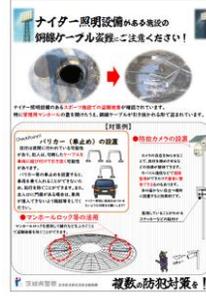
動画

令和7年9月1日から一定のケーブルカッター・ボルトクリッパーの隠匿携帯が禁止されます！

茨城県警察

スポーツ関連施設等を狙った銅線ケーブル盗難事件が発生

県南、県北地域などにおいて、運動公園や野球場、公共施設を狙った金属盗難事件が発生しています。施設の金属盗対策は、防犯カメラや音声警報器のほか、マンホールロックやバリカーと呼ばれる車止めなどの対策が有効です。



金属窃盗捜査強化中！

警察では、月中、バルブや蛇口、銅線を盗んだ金属窃盗犯人を検挙しています。詳細は、県警HP・防犯アプリ（いばらきポリス）をご確認下さい。※ 情報は随時更新



主な被害品とは

・銅線・銅管



通報依頼を拡大しています！

銅線ケーブルの犯行グループは、不法滞在外国人が多く、犯行前に複数台の車でお店や宿泊施設に集合したり、犯行後であれば太陽光発電施設から盗んだ金属ケーブル等を積載した**ワンボックスタイプ**の車で立ち寄る可能性があります。県警では、犯行グループが立ち寄る可能性がある施設等に対して通報依頼を実施しています。



生活安全総務課公式「X」

今年度から、金属盗難抑止対策情報を生活安全総務課「X」でも公開しています。是非、ご確認ください。



太陽光発電施設被害抑止対策

複数対策が有効です！

コラッ

- ・フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- ・機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- ・警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- ・引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ・ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・固定など）
- ・防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- ・アルミケーブルの導入
- ・センサーライトなどの照明機器の設置

ケーブル露出部分が切断されやすいため、物理的に切られない対策をお願いします。

